

# 事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

840

環境啓発事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	4	自然と共生する環境にやさしい社会の形成
施策	1	環境の保全
取組方針	1	生活環境の保全

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	衛生費		
	項	環境保全費		
	目	環境保全政策費		
	大事業	環境保全政策事業		
中事業	環境啓発事業			

事業種別	継続		関連個別計画	環境基本計画、生活排水対策推進計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	環境政策課	斉藤 美仁 435-1114
事業実施の根拠法令			関連課			

## 1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	より良い地域環境及び地球環境を確保するため、環境の保全及び創造について啓発事業を推進する。		各種啓発事業を実施し、市民や事業者等に環境保全の重要性を伝える。生活排水対策指導員を委嘱し、生活排水対策に関する市民への啓発を行う。また、小学校等への出前講座を行う。			
事業内容	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	
	啓発活動の実施（街頭啓発、環境パネル展、イベントへのブース出展）。 環境保全講演会の開催。 「和歌山市の環境」作成・配布。 出前講座の実施。 生活排水対策指導員会議の開催。	啓発活動の実施（街頭啓発、環境パネル展、イベントへのブース出展）。 環境保全講演会の開催。 「和歌山市の環境」作成・配布。 出前講座の実施。 生活排水対策指導員会議の開催。	啓発活動の実施（街頭啓発、環境パネル展、イベントへのブース出展）。 環境保全学習会の開催。 「和歌山市の環境」作成・配布。 出前講座の実施。 生活排水対策指導員会議の開催。	啓発活動の実施（街頭啓発、環境パネル展、イベントへのブース出展）。 環境保全学習会の開催。 「和歌山市の環境」作成・配布。 出前講座の実施。 生活排水対策指導員会議の開催。	啓発活動の実施（街頭啓発、環境パネル展、イベントへのブース出展）。 環境保全学習会の開催。 「和歌山市の環境」作成・配布。 出前講座の実施。 生活排水対策指導員会議の開催。	

## 2 事業コスト

事業費等(千円)	平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	2,323	2,007	1,998	1,827	2,102	1,840	1,964	0	1,964	0
伸び率(%)	△22.3%	△22.1%	△14%	△9%	5.2%	0.7%	△6.6%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	5,155	5,075	5,017	4,857	4,344	4,344	4,344	0	0
	正規職員以外	1,095	1,095	1,041	1,041	1,102	1,102	1,102	0	0
	小計	6,250	6,170	6,058	5,898	5,446	5,446	5,446	0	0
国庫支出金	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	2,323	1,993	1,998	1,827	2,102	1,840	1,964	0	1,964	0
所要人数(人)	正規職員	0.64	0.63	0.63	0.61	0.56	0.56	0.56	0.00	0.00
	正規職員以外	0.48	0.48	0.48	0.48	0.48	0.48	0.48	0.00	0.00
主な予算内訳	報償金159千円、印刷製本費441千円、消耗品費1,269千円									

## 3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
啓発事業実施回数		回	目標値	6	6	6	6	6
			実績値	7	1	2		
			達成度(%)	116.7%	16.7%	33.3%	%	%
環境保全学習会の開催回数		回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	0	1		
			達成度(%)	100%	0%	100%	%	%
環境保全学習会参加人数		人	目標値	150	150	30	30	30
			実績値	111	0	21		
			達成度(%)	74%	0%	70%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

#### 4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

#### 5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	市民、事業者に対する様々な啓発活動を継続して行うことで、意識を向上させ、環境保全活動のすそ野を広げることができる。また、河川の汚濁負荷量の約6割を占める生活排水の対策を継続して推進することで環境の保全に努める。
見直し・改善内容	生活排水対策について、啓発チラシの内容をリニューアルし、一層の普及促進を図っていく。